

県南保健所感染症情報

令和8年 第 8 週

令和8年2月16日 ~ 令和8年2月22日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◆◆定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◆◆ (定点当たり患者数)

定点	疾病名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 8 週						警報レベル		注意 報レ ベル
		6 週		7 週		8 週		全国		長崎県		県南保健所		開始	終息	
	インフルエンザ定点	40.80	警報	45.00	警報	39.20	警報	34.54	警報	42.82	警報	39.20	警報	30	10	10
	COVID-19	1.60		1.20		8.80		1.83		1.35		8.80				
	急性呼吸器感染症 (ARI)	64.60		63.60		63.20		86.46		96.41		63.20				
小児科 定点	RSウイルス感染症	0.00		0.00		0.33		0.56		0.35		0.33				
	咽頭結膜熱	1.00		0.67		1.33		0.28		0.55		1.33		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.67	警報	8.33	警報	7.33	警報	2.87		2.90		7.33	警報	8	4	
	感染性胃腸炎	0.00		2.00		2.33		8.02		6.19		2.33		20	12	
	水痘	0.00		0.00		0.33		0.33		0.26		0.33		2	1	1
	手足口病	0.00		0.00		0.00		0.05		0.10		0.00		5	2	
	伝染性紅斑 (リンゴ病)	0.00		0.00		0.00		0.13		0.19		0.00		2	1	
	突発性発しん	0.00		0.00		0.00		0.20		0.23		0.00				
	ヘルパンギーナ	0.00		0.00		0.00		0.01		0.03		0.00		6	2	
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00		6	2	3
眼科 定点	急性出血性結膜炎	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00		1	0.1	
	流行性角結膜炎	4.00		5.00		3.00		0.42		2.00		3.00		8	4	
基幹 定点	細菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.03		0.00		0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.03		0.00		0.00				
	マイコプラズマ肺炎	0.00		0.00		0.00		0.24		0.17		0.00				
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00				
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスであるものに限る)	0.00		0.00		0.00		0.06		0.00		0.00				

◆◆全数把握対象感染症 発生状況◆◆

※報告日掲載 (県作成速報: 診断日掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	報告なし

◆◆トピックス・季節情報◆◆

☆インフルエンザの流行が続いています。

第8週の管内の定点当たり報告数は39.2で、警報レベルの報告数が13週間継続しています。インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などが起こり、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。

今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。

☆感染性胃腸炎を予防しましょう。

感染性胃腸炎は、12月以降に患者が増加する傾向にあります。本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスをはじめとするカリシウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。例年冬期に患者数が増加するのがノロウイルスによる胃腸炎です。ノロウイルスの潜伏期間は1~2日で症状の持続期間は数時間~数日です。症状は他の胃腸炎ウイルスと同様に嘔気、嘔吐、下痢が主で、腹痛や発熱を認める場合もあります。乳幼児から成人に至るあらゆる年齢に感染します。

また、ノロウイルスは食中毒の原因としても検出されるウイルスです。ノロウイルスに感染した患者の手指から食品を介して感染します。予防には、手洗いが重要です。手洗いを励行し、体調管理を行い、積極的な感染防止に努めましょう。